

# 西須磨防災福祉コミュニティ 地域おたすけガイド

## 災害時初動対応マニュアル

### 地域おたすけガイドの作成にあたって

- ◎地域おたすけガイドは、地域の皆さんが災害時に活動する際に、活用するものです。
- ◎災害時は周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分たちのできる範囲で活動を行うことが大前提です。
- ◎防コミで訓練を通して繰り返し検証して、西須磨地域に適したガイドにするために、どんどん見直していきましょう。
- ◎毎年一回は総会等で確認する機会を設けましょう。

令和3年3月作成

西須磨防災福祉コミュニティ

# 目 次

西須磨地域の主要施設・設備等	1
防災資機材庫収納品リスト	2
災害発生時の連絡体制案	5
地域で準備しておくべきこと	6
風水害発生時における災害対応	7
地震発生時における災害対応（津波が予想される場合）	8
地震発生時における災害対応（津波の心配がない場合）	9
簡易避難者カード・避難者調査票	12
活動の事前指示書	14
* 情報収集・伝達	14
* 安否確認	15
* 自力での避難が困難な人の避難支援	16
* 救出・救護活動	17
* 消火活動	18

## 【巻末資料】

- \* 各家庭向け資料
- \* 西須磨地域における災害対応活動のイメージ
- \* 西須磨周辺地域マップ

## 災害発生時や緊急時の連絡先

須磨区役所	☎731-4341	西須磨小学校	☎731-0295
須磨消防署	☎735-0119	須磨一ノ谷プラザ	☎731-8353
須磨警察署	☎731-0110	須磨の浦地域福祉センター	☎797-5285
西部建設事務所	☎742-2424	須磨浦小学校	☎731-0349
N T T	☎113	マリスト国際学校	☎732-6266
水道（西部センター）	☎733-6601		
下水（水環境センター）	☎641-2711		
大阪ガス	☎0120-7-19424		
関西電力	☎0800-777-3081		

## ■西須磨地域の主要施設・設備等

防コミ運営本部 設置場所	西須磨小学校  ☎078-731-0295	
	【防コミ運営本部設置基準】 ・ 震度5弱以上の地震が発生した場合 ・ 風水害による大規模な被害が発生すると予想される場合 ・ その他、会長と役員が協議し、設置が必要であると判断した場合	
ブロック拠点	Aブロック	月見山自治会館（稲葉プラザ）
	Bブロック	西須磨小学校 ☎078-731-0295
	Cブロック	須磨の浦地域福祉センター ☎078-797-5285
	Dブロック	須磨一ノ谷プラザ ☎078-741-6465
近隣の避難所		西須磨小学校 ☎078-731-0295
		須磨一ノ谷プラザ ☎078-741-6465
	※未指定	須磨浦小学校 ☎078-731-0349
	※未指定	マリスト国際学校 ☎078-732-6266
福祉避難所	須磨の浦地域福祉センター ☎078-743-6166	
災害時給水拠点	海浜公園貯水槽	
防災資機材庫 設置場所	月見山自治会館	
	西須磨小学校	
	須磨の浦地域福祉センター	
	潮見台公園	
	須磨浦公園	
要援護者支援名簿 保管場所		
西須磨小学校 鍵保管場所		
須磨一ノ谷プラザ 鍵保管場所		

西須磨地域福祉センターは「福祉避難所」に指定されています

神戸市では、避難所での生活において、何らかの特別な配慮を要する高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、病弱者等の要配慮者のうち、介護保健施設や医療機関等に入所・入院するに至らない程度の方を受け入れる施設として、市内の地域福祉センター等を「福祉避難所」に指定しています。

福祉避難所の対象者は、市の保健師が避難所で行う健康調査等をもとに、ご本人やご家族の意向や状況を踏まえ、市が決定します。

※福祉避難所の開設は、対象者の人数や施設の状況、対応可能な人員や物資の確保の状況等を踏まえて、市が判断します。災害時に常に開設される訳ではないため、要援護者の方を含め、まずは一般避難所へ避難することになります。







## ■災害発生時の連絡体制案


防コミ運営本部・Bブロック活動拠点【西須磨小学校】					
役 職	氏 名	電話番号	役 職	氏 名	電話番号

Aブロック活動拠点【月見山自治会館】					
役 職	氏 名	電話番号	役 職	氏 名	電話番号

Cブロック活動拠点【須磨の浦地域福祉センター】					
役 職	氏 名	電話番号	役 職	氏 名	電話番号

Dブロック活動拠点【須磨一ノ谷プラザ】					
役 職	氏 名	電話番号	役 職	氏 名	電話番号

## ■地域で準備しておくべきこと

西須磨防災福祉コミュニティ	確認欄
非常時に連絡が取り合えるよう、防災福祉コミュニティや各ブロック・自治会の名簿・連絡網等を整理する。	
非常時に西須磨小学校に駆けつけ、防コミ運営本部を立ち上げるためのメンバーを決めておく。	
西須磨小学校の避難所の開設（門や体育館の開放手順等）や運営について、施設関係者や区役所と協議する。	
須磨一ノ谷プラザの避難所の開設（入口の開放手順等）や運営について、施設関係者や区役所と協議する。	
指定避難所以外の施設（須磨浦小学校やマリスト国際学校等）における、避難者の受け入れの可否等について、施設関係者と協議する。	
各防災資機材庫の鍵の所有者や収容品を確認し、使用できるか点検する。	
防災訓練等を通じて、防災資機材庫の収容物の補充や追加を行う。	
各自治会等を通じ、日頃から各家庭としても災害への備えをしておくよう意識啓発を行う。	
民生委員等と協力し、各自治会で避難支援が必要な人の対応について協議しておく。	
倒木のおそれや道路のひび割れ等、災害発生時に気になる場所があれば、情報共有アプリ「K O B E ぽすと」等を活用し、関係部署へ知らせておく。 ※右記QRコードよりダウンロード可能	



## ■風水害発生時における災害対応

### 【災害発生前】

防コミ役員間のやりとり及び情報の収集等	確認欄
防コミ役員は気象情報、土砂災害警戒情報等を収集し、地域の状況を整理する。	
大規模な風水害が発生すると予想される場合、防コミ役員同士で連絡を取りあい、災害対応の方針について確認を行う。	
避難所（西須磨小学校・須磨一ノ谷プラザ）と連絡を取り、避難所の開設状況や避難した人の情報等を収集・整理し、必要に応じて防コミ運営本部を開設する。	

## 神戸市が発表する避難情報について

警戒レベル	避難情報	求められる行動
警戒レベル3	<p><b>高齢者等避難</b></p> <p>大雨や暴風が続くと見込まれ、土砂災害や洪水が発生する可能性が高まっている状況。</p>	<p>お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方は避難を開始してください。それ以外の方は、いつでも避難ができるように備えてください。</p>
警戒レベル4	<p><b>避難指示</b></p> <p>災害の前兆現象が発生、切迫した状況から命が危険にさらされる可能性が非常に高まっている状況。緊急に避難が必要。</p>	<p>速やかに避難を開始してください。外が危険な場合は、自宅の2階以上の部屋など（土砂災害の場合は山と反対側）に避難してください。</p>
警戒レベル5	<p><b>緊急安全確保</b></p> <p>既に災害が発生している状況。</p>	<p>ただちに命を守る最善の行動をとってください。</p>

※警戒レベル1及び2は気象庁が発表

### 【災害発生後】

※安否確認、自力での避難が困難な人の避難支援、救出活動等具体的な災害対応活動については、次ページ以降の「地震発生時における災害対応」参照

※ただし、特に風水害発生時には二次的被害に巻き込まれる危険も伴うことから、自身の安全を最優先して、できる範囲内での活動に留めること。

## ■地震発生時における災害対応（津波が予想される場合）

### 【災害発生直後】

防コミ運営本部の立ち上げ	確認欄
防コミ事務局スタッフほか、予め決められた役員は、可能であれば西須磨小学校へ駆けつけ、集まったメンバーで防コミ運営本部を開設する。	
地域の地図や名簿、メンバーで情報を共有するための機材（ホワイトボードや模造紙等）を準備する。	
防災行政無線、ラジオ、テレビ等から津波警報、津波注意報等を収集し、有線電話、携帯電話等を使用して、各自治会に伝達する。	

自治会毎の災害対応	確認欄
気象庁から津波警報、神戸市から避難勧告や避難指示が発表された場合は、近所の人へJR線以北への避難を呼びかける。	
自力での避難が困難な人（災害時要援護者や障がい者、お年寄り、妊婦、負傷者等）がいる場合、自分の身の安全の確保を前提とした上で、避難支援を行う。	
JR線以北等への水平避難が困難なときは、最寄りのビルの3階以上への避難を呼びかける。	
避難勧告・避難指示が解除されるまで、津波による浸水想定区域の外で待機する。	

## ■地震発生時における災害対応（津波の心配がない場合）

### 【災害発生直後】西須磨防災福祉コミュニティ事務局・Bブロック

防コミ運営本部の立ち上げ	確認欄
災害発生時、防コミ事務局スタッフほか予め決められた役員は、可能であれば西須磨小学校へ駆けつけ、集まったメンバーで防コミ運営本部を開設する。	
地域の地図や名簿、メンバーで情報を共有するための機材（ホワイトボードや模造紙等）を準備する。	
A～Dブロックと連絡を取り合い、西須磨地域全体の被害状況や安否確認の情報を収集・整理する。	
地域の被害状況等に応じて、西須磨小学校避難所開設や運営サポートを行うスタッフを割り振る。	
収集・整理した情報を区役所、消防署、警察署等に連絡する。	
収集・整理した情報や指示内容を、A～Dブロックに伝達する。	
西須磨小学校避難所の開設	確認欄
学校関係者や区役所職員と協力して避難所を開設する。	
簡易避難者カードを活用し、避難者名簿を作成する。	

### 【災害発生直後】Aブロック

Aブロック活動拠点の立ち上げ	確認欄
ブロック長及びそれを補佐する役員は、月見山自治会館（稲葉プラザ）に集まる。	
各町丁の役員と連絡を取り合い、地区の被害状況や安否確認情報を収集・整理する。	
収集・整理した情報を西須磨小学校の防コミ運営本部へ伝達する。	

### 【災害発生直後】Cブロック

Cブロック活動拠点の立ち上げ	確認欄
ブロック長及びそれを補佐する役員は、須磨の浦地域福祉センターに集まる。	
須磨浦小学校やマリスト国際学校といった未指定避難所に対し、避難者の受け入れを要請する。	
ブロックを構成する自治会等の役員と連絡を取り合い、地区の被害状況や安否確認情報を収集・整理する。	
収集・整理した情報を西須磨小学校の防コミ運営本部へ伝達する。	
各自治会で必要な災害対応活動の人員が不足している場合は、ブロック活動拠点で調整し、応援を派遣する。	

## 【災害発生直後】Dブロック

Dブロック活動拠点の立ち上げ		確認欄
ブロック長及びそれを補佐する役員は、須磨一ノ谷プラザに集まる。		
ブロックを構成する自治会等の役員と連絡を取り合い、地区の被害状況や安否確認情報を収集・整理する。		
収集・整理した情報を西須磨小学校の防コミ運営本部へ伝達する。		
各自治会で必要な災害対応活動の人員が不足している場合は、ブロック活動拠点で調整し、応援を派遣する。		
須磨一ノ谷プラザ避難所の開設		確認欄
施設関係者や区役所職員と協力して避難所を開設する。		
簡易避難者カードを活用し、避難者名簿を作成する。		

## 【災害発生直後】各自治会役員

情報収集・伝達		確認欄
各自治会の役員は、あらかじめ決めておいた一時集合場所（公園や広場、自治会館前等）に集まる。		
自治会内の被害状況や安否確認情報を収集・整理する。		
収集・整理した情報を所属ブロックの活動拠点へ伝達する。		
安否確認・避難支援		確認欄
民生委員や友愛訪問ボランティア等と協力し、安否不明者の確認を行う。特に安否確認が必要な人の名簿等を事前に用意している場合は、それらを活用する。		
自力での避難が困難な人（災害時要援護者や障がい者、お年寄り、妊婦、負傷者等）の避難支援を行う。		
状況により自宅待機となった場合も、その情報を防コミ運営本部に集約する。		
救出・救護		確認欄
二次災害に注意しながら、各自治会で管理している防災資機材庫の資機材等を活用し、被災者を救出する。		
被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施し、避難所、医療機関へ搬送する。		
初期消火		確認欄
地区内の出火場所を確認し、消火活動に必要な人員を割り振る。		
消火器や小型動力ポンプ等、あらゆる消火器具を活用して初期消火を行う。		

【災害発生から数時間～3日（72時間）くらい】

防コミ運営本部の運営	確認欄
A～D各ブロックや他の避難所等との連絡を通じ、地域内の被害状況等を収集・整理する。	
収集・整理した情報を区役所、消防署、警察署等に連絡し、支援の要請を行う。	
各ブロック・自治会で必要な災害対応活動の人員が不足している場合は、防コミ運営本部で調整し、応援を派遣する。	

避難所の運営	確認欄
避難者調査票を活用し、避難者のより詳細な情報を名簿にまとめる。	
避難所に来た人々から、地域の被害状況や安否確認情報を収集・整理し、防コミ運営本部へ伝達する。	
各ブロック・自治会で必要な災害対応活動に関して、避難所に来た人々から協力者を募る。	
災害時要援護者に配慮する。 ※特に、知的や精神、発達障がい者のうち、集団生活に対応することが困難な人、透析患者やオストメイト（人工肛門など）などの内部障がい者について、特別な配慮が必要であることを他の避難者に理解してもらうことが重要。	
女性や子育て家庭、一緒に連れて避難してきたペットなどにも配慮する。	
福祉避難所を必要とする方について、避難所を巡回する市の保健師へつなぐ。	
支援物資は避難所にいる人だけでなく、自宅で待機している人へも行き渡るよう管理・配布する。	

生活情報の収集・周知	確認欄
生活情報を収集し、地域住民へ周知する。	

防火・防犯パトロール	確認欄
パトロール班を結成し、二次災害に注意しながら、交代で地域内のパトロールを行う。	

# 簡易避難者カード

<small>ふりがな</small> 世帯代表者氏名	(      歳)					
情報の使用 どちらかに○	安否確認があった場合、この情報を使用することに… 同意する      ・      同意しない					
住所						
家族 (ここにいる方)	<small>ふりがな</small> 氏名	性別	続柄	年齢	連絡先	備考

## 簡易避難者カードの活用例

- ①簡易避難者カードの配布
  - \* 自治会役員等が中心となり、地区ごとにカードを配布する。
  - \* 同時に避難者の数を数える。
- ②避難者の数の把握
  - \* 自治会役員等が数えた避難者数から、避難者の総数を把握する。
- ③簡易避難者カードの収集
  - \* 自治会役員等が中心となり、世帯代表者が記入した簡易避難者カードを地区ごとに収集する。
  - \* 安否がすぐに分かるよう、掲示板などにカードを貼ってもよい。
- ④より詳細な避難者情報の収集
  - \* 避難所の状況が落ち着いてから、避難者調査票（次ページ）を改めて配布・収集する。

# 避難者調査票

※太枠部分は必ずご記入下さい。

避難所名 ( )

<b>①記入時点</b>	年 月 日 時 分	<b>②入所日</b>	年 月 日	
<b>③代表者氏名</b>		<b>⑧親族 などの 連絡先</b>	氏名	
<b>④住所</b>	〒 -		住所	
			連絡先	
<b>⑤電話番号</b>	( ) -	<b>⑨自宅の被害状況</b>	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<b>⑥電話番号(携帯)</b>	( ) -	<b>⑩避難場所</b>	<input type="checkbox"/> 建物内 <input type="checkbox"/> 車中泊(避難場所敷地内) <input type="checkbox"/> 持参テント(避難所敷地内) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<b>⑦車種・ナンバー</b>				
<b>⑪避難場所滞在理由</b>	<input type="checkbox"/> ライフライン不通(電気・ガス・水道・電話) <input type="checkbox"/> 自宅の片づけができない <input type="checkbox"/> その他 ( )		<input type="checkbox"/> 余震が不安 <input type="checkbox"/> 必要な物資が手に入らない	
<b>⑫家族構成など</b>		<b>⑬以下に該当するものがあれば 項目を○で囲ってください</b>	<b>⑭備考欄 (病気や食物アレルギーなど)</b>	
フリガナ 氏名	年齢 続柄			
代表者	年 月 日生 歳		ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族様等	年 月 日生 歳		ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族様等	年 月 日生 歳		ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族様等	年 月 日生 歳	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)	
聞き取りメモ(職員記入欄)		記入者名 ( )		

# 情報収集・伝達

1. ラジオ、テレビ、防災行政無線等で地震情報等の収集を行う。
2. 地域内の災害情報を把握する。

## 情報収集・伝達手順

### 1. 情報収集

収集した情報はホワイトボード等に時系列で記載する。

#### ①ラジオ等での情報収集

通信手段が確保されている場合は、ラジオ、テレビ、防災行政無線のほか、電話等も活用する。

#### ②行政からの情報収集

各種機関へ直接連絡を取り、必要な情報を収集する。また、定期的に区役所等に向くなどして、公開されている情報を収集する。

#### ③各自治会からの情報収集

地区内の被害状況や避難状況等の情報を収集する。

### 2. 情報伝達

情報を伝える手段として、ハンドマイク、広報掲示板、回覧板も効果的に活用する。



# 安否確認

民生・児童委員等と協力し、安否不明者の確認を行う。

## 訪問先での確認手段

### 1. 外観の確認

建物に甚大な被害がないかを確認する。

### 2. 声かけ・呼びかけ確認

門の外側で大きな声で呼びかけ、安否を確認する。

### 3. ドアをノックする

応答がないときは、呼びかけと一緒にドアをノックする。

### 4. 庭、勝手口等の確認

状況が把握できないときは、庭、勝手口などを確認する。

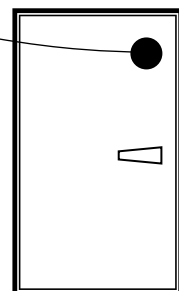
### 5. 確認シール貼付

確認した状況に応じて、玄関ドアの右上にシールを貼付

① 救助支援の必要あり → 赤色のシール

② 安否確認できず → 黄色のシール

③ 確認済・支援必要なし → 緑色のシール



# 自力での避難が困難な人の 避難支援

1. 自身の安全を確保した上で、二次災害に気をつけながら可能な限りで、避難する必要がある人の支援を行う。
2. 一時集合場所や避難所に集まった人々から協力者を募り、支援者の割り振りをを行う。

## 避難支援のポイント

1. 一人暮らし高齢者  
迅速な情報伝達と避難誘導、安否確認および状況把握が必要。
2. 寝たきりの要介護高齢者  
避難時は車いす、担架、ストレッチャー等の補助器具が必要なことがある。
3. 認知症の人  
安否確認、状況把握、避難誘導の援助が必要。
4. 視覚障がい者  
音声による情報伝達や状況説明、避難誘導等の援助が必要。
5. 聴覚障がい者  
補聴器の使用や、手話、文字、絵図等を活用した情報伝達および状況説明が必要。
6. 言語障がい者  
手話、筆談等によって状況を把握することが必要。
7. 在宅人工呼吸器使用者  
避難所での電源確保が必要。
8. 負傷者  
避難時は車いす、担架、ストレッチャー等の補助器具が必要なことがある。

# 救出・救護活動

1. 防災資機材（ジャッキ、のこぎり、バール等）を活用し、協力して救出活動を行う。
2. 救護（応急手当）を実施する。
3. 一時集合場所や避難所に集まった人々から協力者を募り、救出・救護活動人員の割り振りを行う。

## 救出・救護手順

### 1. 被害の実態把握

- ①倒壊建物に取り残されている人がどのような状態か（けがの程度も含めて）確認する。
- ②建物の倒壊状況および内部に進入するスペースがあるかを確認する。
- ③二次災害が発生する危険要因がないか確認する。

### 2. 二次災害の防止

- ①木片、トタン、ガラス等の軽量物を除去する。
- ②柱、梁等の大きな物の周辺物を除去するときは、これらの大きな物がずれたり倒壊しないようにロープ等で支持、固定する。
- ③火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。ガスの元栓や電気のブレーカーは早期に閉止や遮断を行う。

### 3. 要救助者の救出

- ①要救助者の近くまで掘り進んだ後は資機材を使わずに手作業にする。
- ②要救助者を無理に引き出そうとしない。

### 4. 応急手当

出血しているときは清潔なガーゼ等で傷口を圧迫止血する。

# 消火活動

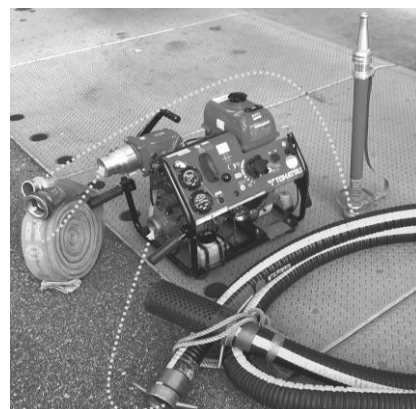
1. 研修を受けた人が中心となり、小型動力ポンプ等を活用し、初期消火を行う。
2. 出火場所を確認し、消火活動人員を割り振る。

## 消火活動手順

1. 消火用水の選定
  - ①火元に近い消火用水を選定し、強風時には風上側を使うなど風向きに注意する。
  - ②河川使用時はストレーナーを水の流れに向けて投入し、浮かばないようにする。
  - ③ポンプから水面までの高低差は7m以内を目安とする。
2. ホースの延長要領
  - ①道路、建物の曲がり角では大きく曲げて、折れやねじれ、引きずりを避ける。
  - ②ホースの結合は漏水しないように確実にを行う。
3. 送水の時期
  - ①ホースの延長状況や筒先担当の「放水始め」の合図があってから送水する。
  - ②放水口コックを開けるときはノズルの反動力を考え徐々に行う。

## 小型動力ポンプの使い方

- ①燃料コックを開く。
- ②スロットルダイヤルを「給水・始動」の位置に合わせる。
- ③リコイルスターターハンドルを強く引張り、エンジンを始動させる。
- ④給水レバーを引き上げ、水を吸い上げる。
- ⑤放水口コックをゆっくり開きながら全開にし、放水を行う。



■非常時を見越した食料や物資の準備

安心ストック

ライフラインが途絶えても、何日間かは自給自足してしのぐための物品を備蓄しておきましょう。

- 水 調理のことも考えて 1人1日3リットルを目安に
- 主食 ご飯の場合は、レトルト、多めに炊いたご飯を冷凍しておくなど
- 缶詰 長期保存に適しています 缶切りが必要なタイプもあるので注意
- インスタント食品
- フリーズドライ食品
- 漬物 梅干しなど
- 乾物 不足しがちなビタミン、食物繊維の摂取に役立ちます
- 菓子類 チョコレート、キャンデーなど
- 調味料

- キッチンペーパー
- ポリ袋（大、小）
- ティッシュペーパー
- トイレトペーパー 南海トラフ地震では不足と言われていています
- 簡易トイレなど 災害用トイレなど 断水状態でも使用できるように
- 家庭用救急セット 毛抜き、ガーゼ、包帯など
- 持病薬 無くなる前に診察を受け、数日分をストック 合わせて処方箋のコピーも
- 生理用品
- 充電器、予備の乾電池



いつもケータイ

災害はいつ起きるかわかりません。いつも使うバッグやポケットに入れて身につける、あるいは枕元に置いておきましょう。

- 家、車の鍵
- 財布 小銭も入れておく
- 身分証明書
- 健康保険証
- 携帯電話 できれば充電器も
- 筆記用具 できれば油性ペンも

- ハンカチ、手ぬぐい
- マスク ふんじんを防ぎましょう
- 懐中電灯 ペンライト、携帯電話でも代用可能
- 携帯ラジオ 手回し・ソーラー式なども便利
- スリッパ 食器棚等が倒れ、ガラスが散乱した場合、足を守ることができます
- 緊急ホイッスル 居場所を知らせる用です

非常持ち出し品

家の倒壊や火災等によって避難が必要となった場合、さっと持ち出して逃げられるようリュックサックに入れておきます。

- 飲料水 1人最低 500 ミリリットル
- 加熱がいらぬ食料
- ラップ 清潔なものであれば、止血、食器覆い用
- サバイバルシート 保温性の高いアルミシート
- 着替え 肌着など
- タオル 洗って乾かしたもの

- 軍手・ゴム手袋
- 雨具
- マッチ、ライター、ろうそく
- 生理用品 清潔なものであれば緊急時の止血用としても
- 歯ブラシ 誤嚥性肺炎を防ぎます
- 預貯金通帳・印鑑

※さらに詳しいチェックリストについては、人と防災未来センター発行の小冊子を参照 「減災グッズを備えよう！」→[https://www.dri.ne.jp/wp/wp-content/uploads/bousai\\_goods.pdf](https://www.dri.ne.jp/wp/wp-content/uploads/bousai_goods.pdf)

■防災情報等を入手するために、事前に調べる・登録する

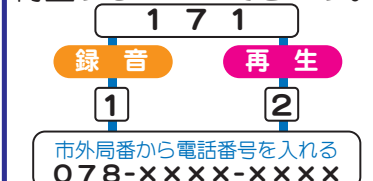
**KOBE防災ポータルサイト SONAE to U? (そなえとう)**  
WEB サイトでは、日頃からの「備え」に役立つ情報や子ども向けの防災クイズ等を配信。アプリでは緊急情報やハザードマップなどの確認ができます。



**ひょうご防災ネット**  
神戸市や兵庫県からの避難情報や緊急気象情報（地震、津波、気象警報、特別警報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、竜巻注意報など）を受信できます。



**災害用伝言ダイヤル「171」**  
家族の安否確認等のために録音した伝言は、全国から再生することができます。



■台風や大雨が接近した場合の災害対応のポイント

①正確な情報を収集する

防災行政無線やテレビ、ラジオ、スマートフォンなどを使って、正しい情報を得る。

②早期の自主避難を心がける

土砂災害警戒区域内の住民は、避難準備・高齢者等避難が発表された段階で避難を開始する。ただし、風雨の状況によっては安全に避難することが困難になる場合も考えられるため、行政による避難の呼びかけを待たずに自主的に判断して早めに避難することを心がける。

③強風への対策

強風による落下物や飛散物を出さないよう、庭やベランダの不要なものを撤去したり、物干竿を固定しておく。窓ガラス等の破損やそれによる怪我をしないよう雨戸やカーテンの閉鎖を徹底する。

■地震が発生した場合の災害対応のポイント

津波が予想される場合

①津波を警戒する

地震の揺れが治まったら「津波」の発生を意識して、防災行政無線、テレビ、ラジオ、スマートフォンなどで、津波・大津波警報の有無を確認する。

②避難の基本は「水平避難」逃げ遅れたら「垂直避難」

可能な限り近所の人へ避難を呼びかけた上で、津波浸水想定区域外（できれば JR 線より北側）へ徒歩で移動する。津波到達予想時間（約 85 分）までに避難できそうにない場合は、最寄りのビルの3階以上へ避難する。

③絶対に戻らない

津波は何度でもおしよせてくるため、避難勧告・避難指示が解除されるまでは絶対に戻らず、津波浸水想定区域外の緊急待避所等で待機する。

津波の心配がない場合

①まず自分の身の安全を守る



地震の揺れを感じたら、まず姿勢を低くし、丈夫なテーブルの下に隠れたり、座布団等を使って頭を守り、ある程度揺れが治まるまでは、じっと動かないこと。

②家族の安全を確認・確保する

家族の安否を確認し、家具が倒れてこないような、家の中の安全な場所に避難する。

③避難経路を確保する

建物がゆがんでドアが開かなくなれば危険。ドアや窓を開けておく。

④身支度を整える



靴を履き、あらかじめ用意しておいた非常持ち出し袋等を確保する。

⑤正確な情報を収集する

テレビやラジオ、防災行政無線、スマートフォンなどを使って、正しい情報を得る。

⑥火気や電気を始末する

調理器具や暖房器具の火を消し、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。

⑦安否確認や避難の呼び掛け

可能な範囲で近所の人への安否確認や、避難の呼び掛けを行う。

■各家庭での日頃からの備え

- \*各家庭で食料や物資を備える。最低3日分、できれば7日分準備しておく。
- \*家具の転倒による怪我や閉じ込めを防ぐため、金具や突っ張り棒、ベルト等を使って固定しておく。
- \*津波浸水想定区域や避難所までの経路など、普段から住んでいる地域の状況を把握しておく。
- \*家族との連絡方法や避難場所等を普段から話し合っておく。

# 西須磨地域における災害対応活動のイメージ

## 防コミ運営本部設置基準

- ・震度5弱以上の地震が発生した場合
- ・風水害による大規模な被害が発生すると予想される場合
- ・その他、役員が協議し、設置が必要であると判断した場合

災害発生時など、防コミ運営本部設置基準が満たされた場合、防コミ事務局スタッフやBブロック役員は西須磨小学校へ駆けつけ、防コミ運営本部を設置する

土砂災害時は西須磨小学校へ避難すること。ただし、警戒区域外への避難が困難な方や余裕のない場合は利用可能

**避難所（屋内の緊急退避所）**  
**須磨一ノ谷プラザ**

**避難所開設・運営サポート**

- \* 避難者名簿の作成・整理
- \* 支援物資の配布（自宅待機者含む）

**Dブロック活動拠点**

- \* 各自治会からの情報の集約・整理
- \* 各自治会の災害対応活動を支援する人員の収集・派遣
- \* 防コミ運営本部への情報伝達

ブロックで整理した情報を防コミ運営本部へ伝達

**未指定避難所**

- \* 須磨浦小学校
- \* マリスト国際学校

**須磨の浦地域福祉センター**

**Cブロック活動拠点**

- \* 須磨浦小学校・マリスト国際学校へ避難者受け入れの要請
- \* 各自治会からの情報の集約・整理
- \* 各自治会の災害対応活動を支援する人員の収集・派遣
- \* 防コミ運営本部への情報伝達

**避難所（屋内の緊急退避所）**  
**西須磨小学校**

**避難所開設・運営サポート**

- \* 避難者名簿の作成・整理
- \* 支援物資の配布（自宅待機者含む）

**西須磨防災福祉コミュニティ事務局（防コミ運営本部）**

- \* 各ブロックからの情報の集約・整理
- \* 区役所・消防署・警察署等への情報伝達や支援要請

**Bブロック活動拠点**

- \* 各自治会からの情報の集約・整理
- \* 各自治会の災害対応活動を支援する人員の収集・派遣
- \* 防コミ運営本部への情報伝達

地域で集約した情報を行政へ伝達・支援要請

**行政機関**

- ・ 須磨区役所 ☎731-4341
- ・ 須磨消防署 ☎735-0119
- ・ 須磨警察署 ☎731-0110

避難者の情報や支援物資については自治会館には集まらないため、ある程度落ち着いた段階で、西須磨小学校避難所との連携が必要

**月見山自治会館（稲葉プラザ）**

**Aブロック活動拠点**

- \* 各自治会からの情報の集約・整理
- \* 各町丁の災害対応活動を支援する人員の収集・派遣
- \* 防コミ運営本部への情報伝達

**Dブロック 各自治会**

- ・ 須磨浦通6丁目自治会
- ・ 須磨八本松自治会
- ・ グリーンハイツ自治管理組合
- ・ 一ノ谷2丁目自治会
- ・ 一ノ谷3丁目自治会
- ・ 一ノ谷4丁目自治会

**Cブロック 各自治会**

- ・ 須磨浦通4丁目自治会
- ・ 須磨浦通5丁目自治会
- ・ 千守町1丁目自治会
- ・ 千守町2丁目自治会
- ・ 関守町1丁目自治会
- ・ 関守町2丁目自治会
- ・ 関守町3丁目自治会
- ・ 潮見台町自治会
- ・ 潮見台シーサイドヒルズ管理組合

**Bブロック 各自治会**

- ・ 西須磨東部自治会
- ・ 行幸町1丁目自治会
- ・ 天神町1～5丁目自治会
- ・ 須磨本町自治会
- ・ 須磨浦通1.2丁目自治会
- ・ 須磨浦通3丁目自治会

**Aブロック 各自治会**

- ・ 松風市営住宅自治会
- ・ 月見山連合自治会

## 各自治会単位で基本的な災害対応活動を実施する

**情報収集・伝達**

- \* 被害状況や安否確認情報の収集・整理
- \* 各ブロック活動拠点への情報伝達
- \* 住民への支援物資等の生活情報の発信

**安否確認・避難支援**

- \* 安否不明者の確認
- \* 自力での避難が困難な人の避難支援

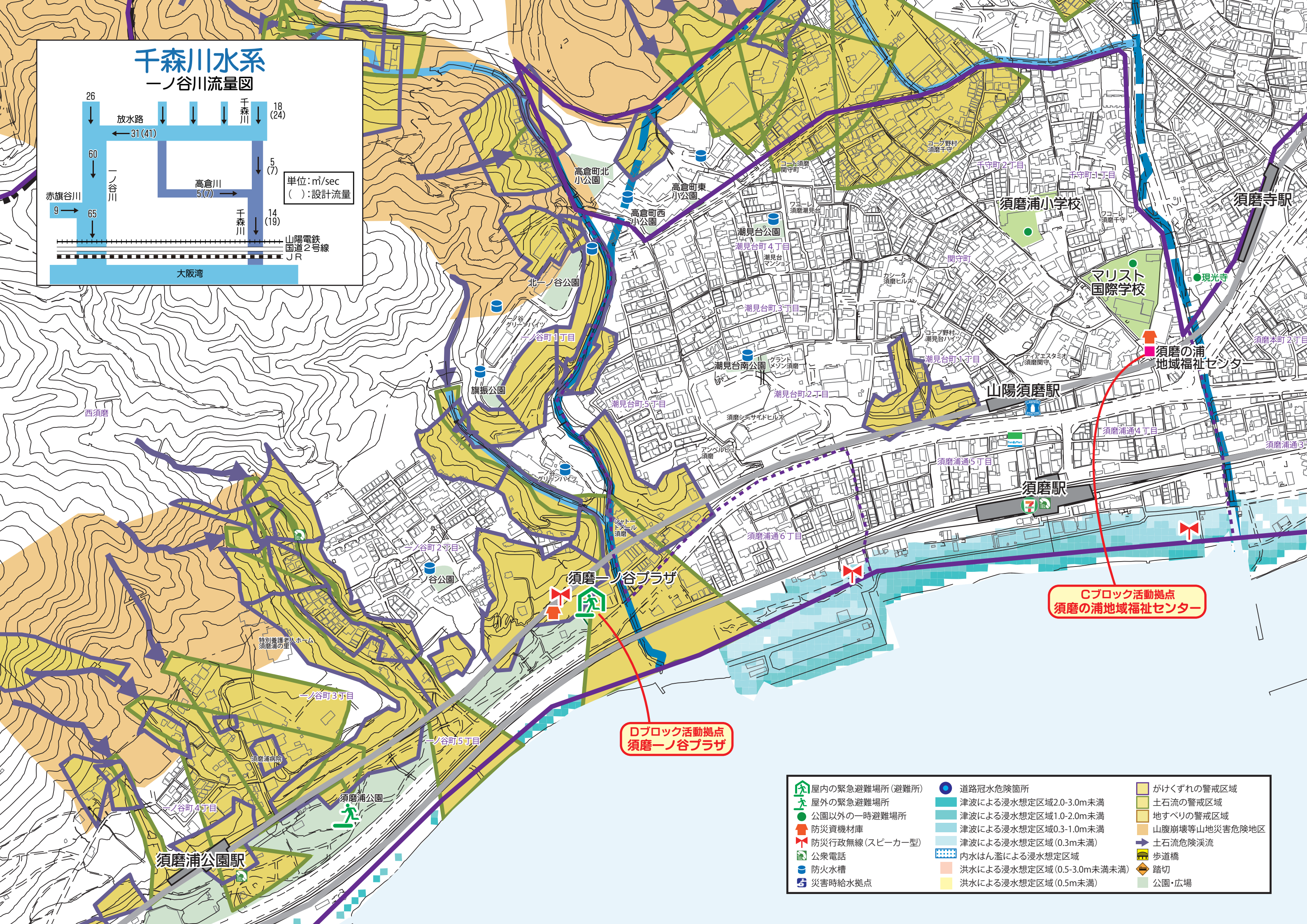
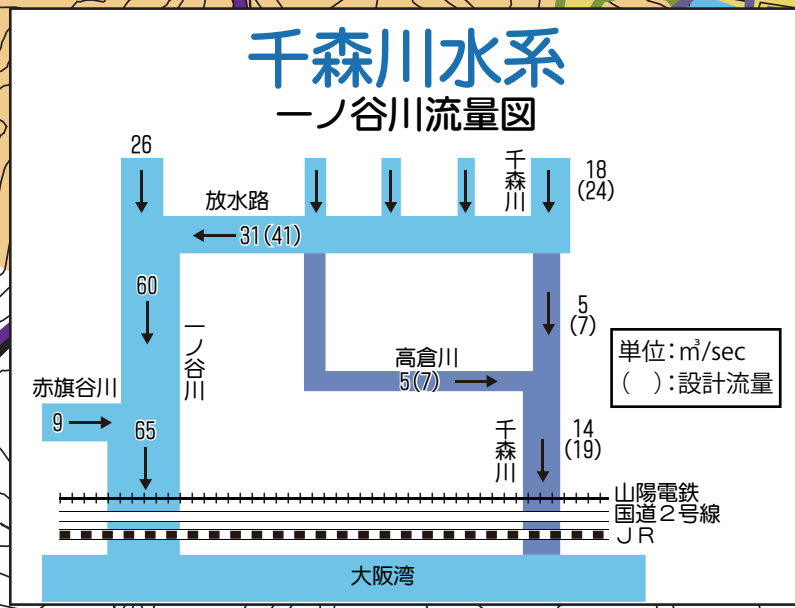
**救出・救護**

- \* 被災者の救出
- \* 負傷者への応急手当
- \* 避難所や医療機関への搬送

**初期消火**

- \* 出火場所の確認
- \* 消火機材の確保
- \* 初期消火活動

A～Cブロックには津波による浸水想定区域、C～Dブロックには土砂災害警戒区域が存在する。日頃から自治会等を通じて、「自宅周辺に警戒区域や危険箇所はあるか」、「土砂災害や地震が発生した際、どこに避難するか」等、各家庭で確認し、話し合ってもらえるよう、防災に対する意識啓発を進めておくこと！



**Dブロック活動拠点  
須磨一ノ谷プラザ**

**Cブロック活動拠点  
須磨の浦地域福祉センター**

- |                |                           |               |
|----------------|---------------------------|---------------|
| 屋内の緊急避難場所(避難所) | 道路冠水危険箇所                  | がけすずれの警戒区域    |
| 屋外の緊急避難場所      | 津波による浸水想定区域2.0-3.0m未満     | 土石流の警戒区域      |
| 公園以外の一時避難場所    | 津波による浸水想定区域1.0-2.0m未満     | 地すべりの警戒区域     |
| 防災資機材庫         | 津波による浸水想定区域0.3-1.0m未満     | 山腹崩壊等山地災害危険地区 |
| 防災行政無線(スピーカー型) | 津波による浸水想定区域(0.3m未満)       | 土石流危険溪流       |
| 公衆電話           | 内水はん濫による浸水想定区域            | 歩道橋           |
| 防火水槽           | 洪水による浸水想定区域(0.5-3.0m未満未満) | 踏切            |
| 災害時給水拠点        | 洪水による浸水想定区域(0.5m未満)       | 公園・広場         |



防コミ運営本部  
Bブロック活動拠点  
西須磨小学校

Aブロック活動拠点  
月見山自治会館

- |                |                           |               |
|----------------|---------------------------|---------------|
| 屋内の緊急避難場所(避難所) | 道路冠水危険箇所                  | がけくずれの警戒区域    |
| 屋外の緊急避難場所      | 津波による浸水想定区域2.0-3.0m未満     | 土石流の警戒区域      |
| 公園以外の一時避難場所    | 津波による浸水想定区域1.0-2.0m未満     | 地すべりの警戒区域     |
| 防災資機材庫         | 津波による浸水想定区域0.3-1.0m未満     | 山腹崩壊等山地災害危険地区 |
| 防災行政無線(スピーカー型) | 津波による浸水想定区域(0.3m未満)       | 土石流危険渓流       |
| 公衆電話           | 内水はん濫による浸水想定区域            | 歩道橋           |
| 防火水槽           | 洪水による浸水想定区域(0.5-3.0m未満未満) | 踏切            |
| 災害時給水拠点        | 洪水による浸水想定区域(0.5m未満)       | 公園・広場         |